



### 第16回トキ放鳥が行われました

6月2日から4日の3日間わたって、16回目となるトキ放鳥が野生復帰ステーション(新穂正明寺)で行われました。雨に加えて強風が吹く悪天候の中でしたが、3月から訓練をしていたトキ18羽は、元気に佐渡の大空へ飛ばれていきました。

今回放鳥されたトキの中には、昨年トキの森公園のトキふれあいプラザで生まれた「みかん(1才、メス)」も含まれます。「みかん」は、6月3日午前に出雲生まれのトキと一緒に順化ケージから元気に飛び出して行きました。これから佐渡の自然の中で元気に暮らしていくことを願います。



ふれあいプラザでの「みかん」(手前)

### ご寄付ありがとうございました

トキ環境整備基金に、田辺修一郎様(三条市)、株式会社アイディ様(佐渡市)、新潟センチュリー株式会社様(新

潟市)からご寄付をいただきました。いただいたご寄付はトキの野生復帰のための環境整備や普及啓発活動などに活用させていただきます。

「トキ」の情報を  
お寄せください!



サドッキー

これまで主に生息している国仲や南部地域のほか、前浜や外海府などの地域でもまとまった数のトキが確認されています。

今後これまであまり見られなかった場所でも確認されることがあるため、皆さまからの目撃情報が重要なデータとなります。

トキを見かけた際には、トキ交流会館へお気軽に情報をお寄せください。

フリーダイヤル

☎0120-980-551

◆市役所産業観光部農業政策課

トキ保護係(トキ交流会館内)

☎24-6040

### 『ノリのりわかめ体験会を実施しました!』

春祭りで賑わう4月15日に、小木半島の沢崎では、「ノリのりわかめ体験会」という地域散策と食を堪能する体験会が開催されました。この体験会の主体は沢崎集落の住民で、佐渡ジオパーク推進協議会が協力しました。

小木半島の海岸では、昔から良質な岩のりが採れます。地殻変動によってできた平らに広がる岩場には、岩のりがよく育ち収穫もしやすいため、特産品として村の経済を支えた時期もありました。

このような地域の歴史を大地の視点から見直し、地域以外の人たちにも知ってもらいたいと計画を進め、体験会の日を迎えました。

4月になると岩のりは採れないため、体験会では岩のりと同様によく育っているワカメの収穫としやぶしやぶをプログラムに組み込みました。

当日は、沢崎の住民がジオパーク推進室の学芸員と共に、岩のりと小木半島の関係、岩のり採りから判のりに成型するまでの行程などを説明しました。参加者は沢崎の海岸を眺めなが

ら、説明に耳を傾けていました。

岩のりの味噌汁やおにぎりが振舞われた昼食会では、参加者と住民が和気あいあいと交流を深めていました。

今回主催した住民の皆さんは、自分たちが暮らす沢崎がどのような地域なのかということをジオパークの視点や地域外の人たちの意見を聞いて、新たな魅力に気づいていました。

国内では、ジオパークを通じた地域おこしや人材づくりを始める集落が増えています。

す。当たり前前だと思っ  
ている日常  
もジオパー  
クを使って  
一歩踏み出  
すと、世界  
が広がります。



沢崎海岸でわかめ刈り体験を楽しむ参加者

◆市教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4160